

# 京都

## 奈良

## 新聞

柿沼

### 東大寺 奈良公園

東大寺には、奈良の大仏として知られる盧舎那大仏があります。15メートルほどの高さがあり、とても迫力がありません。

東大寺の建物は、火事になり焼けてしまったため、江戸時代に再建されました。現在の建物は三度目のものです。また、横幅が約三分の一に縮小されていますが、木造建造物としては世界一の大きさです。

### 仁和寺

仁和寺には、国宝の金堂と五重塔があります。五重塔は上から下まで幅が同じことが特徴です。奈良の五重塔は下が大まか、上にかけて小さくなる、ていませう。

金堂までの道に、背の低い梅が並んでいます。私たちと同じくらいの高さでした。



### 銀閣寺

銀閣寺の正しい名前は、東山慈照寺です。建設当時の建物は黒、雨くぬがれられており、銀は使われていなかったので、金閣寺にちなみ後に銀閣寺と呼ばれました。銀閣寺の参道には、雨に緑があり、とても美しいです。

この参道には、わびと道幅を狭く見せ、庭に出たときに広く感じさせる工夫がされています。金閣寺の参道も近くで見ると、雨が降ってきたり、落ち着いた雰囲気なので、和みます。

また、風によられた草からは、涼しい音が聞こえてきました。



### 金閣寺

金閣寺の正しい名前は、鹿苑寺です。金閣には、たくさん金箔が貼られ、とても輝いています。金箔の貼りかえには、約七億円がかかるそうです。よく見ると、正方形の金箔が貼られて、その色が分かります。

金閣寺のおすすめは、抹茶アイスです。とてもおいしいので、機会があれば食べて下さい。

### 龍安寺

龍安寺には有名な石庭があります。15個の石が並び、4個しか見えないという不思議な石庭です。この石庭には、より立体的に見せる工夫がされています。

庭のまわりを塀が囲んでいますが、雨降の塀は手前から奥にかけて少しづつ低くなっています。これにより奥行きをもたせ、遠近法により庭を立体的に見せています。

また、この石庭の意味は謎に包まれており、見る人の自由な解釈に委ねられています。海に浮かぶ島々という人もいれば、広がる宇宙という人もいます。

### 北野天満宮

北野天満宮は、学問の神様として知られている。菅原道真公がまつられています。

私たちと同じように、たくさんの中三、年生がお守りを購入していました。

また、入試が近くなると、たくさんの方がお参りにくるそうです。



### 清水寺

清水寺には、とても有名な「清水の舞台」があります。実際にのぼりてみると、とても美しい景色を見ることが出来ます。下を見ると、少し怖いです。

また、縁結びで知られる地主神社は、たくさんのお参りがあって、おみくじを引いています。私が引いたおみくじは、「吉」でした。

### 感想

京都・奈良への修学旅行では、たくさん文化財を見ることが出来ました。普通に見れば、ただの建築物に見えてしまうものも、バスガイドさんやタワニーの運転手さんの説明により、建てられた意味を感じることが出来ました。また、視点を変えると新しい発見ができることが出来ました。

一生の思い出に残ることも実現した。楽しい修学旅行でした。